

2017 口述対策 講義

全4回
全12時間

予備試験の口述対策は早い段階からはじめるべき！
実体法の理解だけでなく論文では問われない手続法や民事執行法、
民事保全法の知識は当然身に付けていることが前提です。
そこで…

「予備合格」・「実務家」 弁護士による

【口述攻略】ガイドブック 2017

東京本校 LIVE

■刑事実務基礎

全2回・全6時間

7/29 (土) 1day

■民事実務基礎

全2回・全6時間

8/5 (土) 1day

■使用教材

【刑事実務基礎】

・講師セレクト旧司口述再現

※別売※

・『司法試験予備試験法律実務基礎科目ハンドブック2 刑事実務基礎』（第4版）定価3,500円（税別）

【民事実務基礎】

・講師セレクト旧司口述再現

※別売※

・『司法試験予備試験法律実務基礎科目ハンドブック1 民事実務基礎』（第4版）定価3,600円（税別）

口述に合格するために必要な三本の矢。

それは「口述再現の徹底した分析」・「口述コア知識の修得」・「実務家としての常識」。

まずは旧司・予備「口述再現」を収集し徹底的に分析・学習することでその出題意図と出題の流れを把握することです。本講義では民事・刑事ともに旧司・予備の口述再現を用いて一貫してある口述試験での出題意図と「合格る」解答・「落ちる」解答を示します。

次に「口述コア知識」を事前に把握しその知識を「修得」ことです。本講義では、実体法の理解のみならず、**【民事実務基礎】**では民事手続の概要（弁論準備手続、証拠収集手続）、民事執行法・民事保全法の概要など論文では問われない手続面を中心に解説、**【刑事実務基礎】**では重要な刑事手続の概要（例えば、公判前整理手続や重要な刑事手続の規則関係など）を丁寧に解説していきます。

さらに「実務家としての常識」をきちんと身に付けることも必要です。口述で問われる知識と合格る解答は「実務家」としての素養を身に付けていることが必要です。「あなたが弁護士だったら」「あなたが依頼を受けるなら」どのように対応するのか。その指針は実際に予備試験口述を突破している講師に教わるのが近道です。

講師は
口述合格経験のある
この2人！

●担当講師【刑事実務基礎】
松永 健一先生

東京大学法学部出身。
2013年（第3回）予備試験合格・
2015年 司法試験合格

●担当講師【民事実務基礎】
村上 貴洋先生

東京大学薬学部出身。
2011年（第1回）予備試験合格・
2012年司法試験合格

●スケジュール

科目	講師名 (敬称略)	東京本校			辰巳各本校			通信部WEBスクール				通信部DVD		
		LIVE	時間割	ビデオ-ス 利用開始	ビデオ-ス 利用終了	ビデオ-ス 利用開始	ビデオ-ス 利用終了	配信開始	配信終了	資料送付	申込締切	発送日	初回発送 申込締切	最終 申込締切
刑事実務1	松永健一	7/29(土)	14:00-17:10	8/1(火)	10/27(金)	8/4(金)	10/27(金)	8/3(木)	10/29(日)	8/1以降	10/15(日)	8/7(月)	7/31(月)	10/20(金)
刑事実務2			18:00-21:10											
民事実務1	村上貴洋	8/5(土)	14:00-17:10	8/8(火)		8/11(金)		8/10(木)		8/8以降		8/14(月)		
民事実務2			18:00-21:10											

※辰巳各本校・横浜・大阪・京都・名古屋・福岡本校

●受講料（税込）

講座コード	通学部		通信部 WEBスクール		通信部 DVD	
	辰巳価格	代理店価格	辰巳価格	代理店価格	辰巳価格	代理店価格
178D5*	¥21,500	¥20,425	¥22,600	×××	¥23,800	¥22,610

※注1 通信部WEBスクールについては、生協等の代理店でのお申込みはできません。辰巳WEBスクール（辰巳HP上）でお申込みいただくか、各本校窓口にお問い合わせください。

※注2 通学部は、受講会場（東京校・大阪校など）を申込段階でお選びいただけます。

※注3 通信部は、媒体はWEBとDVDをお選びいただけます。DVDはDVD-R対応機種でのみご利用いただけます。WEB視聴環境等ご自身のプレーヤーをご確認のうえお申し込みください。

※注4 上記受講料表中の「講座コード」の「*」の部分に下記の会場コードのアルファベットを記入して下さい。

例1) 東京校のLIVE又はビデオ-スで受講の場合→「講座コード17●●●*」の「*」にHを当てはめ→「17●●●H」

例2) 通信で受講し、媒体にDVDを選択した場合→「講座コード17●●●*」の「*」にRを当てはめ→「17●●●R」

講座コードの「*」に当てはまる、通学部の会場選択・通信部の媒体選択の記号の一覧表

通学 東京本校はH	通学 横浜本校はY	通学 大阪本校はK	通学 京都本校はM	通学 名古屋本校はN
通学 福岡本校はF	通学 岡山本校はL	通信 DVDはR	通信 WEBはE	

予備試験・司法試験・法科大学院 全てに役立つ 3 時間

岡口基一先生著

要件事実入門 初級者編



● DATA (3h)
DVDコード：一括 H-726R
定価¥6,800 代理店価格¥6,460

講師：辰巳専任講師・弁護士 西口竜司先生

■ Profile

同志社大学卒、甲南大学法科大学院修了(特待生)。平成18年新司法試験合格。[生涯一受験生]をポリシーとし、受験生の読みそうな基本書・判例には全て目を通す。試験問題は全て解く。その熱意あふれる指導が受験生の圧倒的高評価を生んでいる。その活動は常に注目を集め、ブログ来訪者は150万人を超えるアクセスを誇る。

★使用教材：『要件事実入門 初級者編 (創耕舎)』※各自御準備下さい。

岡口裁判官のハイローヤー連載開始に連動！ 予備試験合格レベルの要件事実を超効率的に。

当研究所の隔月雑誌「ハイローヤー」10月号(8/20 発売)に、「要件事実マニアル(きょうせい)」・「要件事実入門(創耕舎)」などで御馴染みの「要件事実アニキ」こと岡口基一裁判官が登場されます。新連載「要件事実せりあがる」。どうぞご期待下さい。

さて、本講座は、岡口裁判官のハイローヤー連載開始に連動する形で企画された「要件事実入門【初級者編】(創耕舎)」解析講座です。岡口裁判官が予備試験をターゲットに執筆された本書に、予備試験・司法試験指導の第一人者・西口竜司先生が、受験生が得意なところ・不得意なところはどこで、どうすると差をつけることができる、逆にこうすると差をつけられるなど、予備校講師ならではの『受験生の相場感覚』をプラスし、より実戦的に本書の内容を掴み取ります。予備試験合格、法科大学院卒業レベルの要件事実の要点を短時間で理解したい方、復習したい方に最適な講義です。 西口先生の「新問題研究 要件事実」6時間はP.30

こんな質沢は辰巳だけ！ 元研修所教官による、珠玉の講義。

ポイント解説

『要件事実論 30 講 (第3版)』 12 時間



● DATA (全12h)
DVD R-396R
定価¥27,200 代理店価格¥25,840

講師：元司法研修所教官・元東京高裁裁判官・弁護士 山本和敏先生

Profile 裁判官として「宴のあと」事件第一審判決、サーベルの刀剣登録拒否処分取消請求事件第一審判決をはじめ多数の署名判決に携わる。また、司法研修所では民事裁判を中心に数多くの司法修習生や裁判官を指導。研修所教官時代に旧司法試験の審査委員も担当された。

★別売教材『要件事実論 30 講 (第3版)』

(弘文堂：税抜¥3,800) ※各自ご準備下さい。

1 『問研』だけで、予備試験をカバーできるか？

予備試験における多くの出題科目の中で、実務基礎科目が最難関科目だとする方が多いようです。実際、第2回論文本試験(民事実務基礎科目)では、相殺や留置権といった司法研修所編『新問題研究 要件事実』(法曹会、2011)(新問研)の掲載の範囲を超えた分野から出題されており、独学での対策の厳しさを物語るものとなっております(なお、第1回口述試験においても、保証債務の要件事実が主要テーマの1つとして問われるなど、要件事実の出題は高度化しています)。

2 元司法研修所教官・元東京高裁裁判官で弁護士の山本和敏先生が、『要件事実論 30 講』という良書を解説

そこで、多くの法科大学院において要件事実教育のテキストとして使われ、また、予備試験論文本試験法律実務基礎科目(民事)の出題形式と同様に言い分方式で事例が示され、さらに、編者の一人が平成24年司法試験・司法試験予備試験審査委員であるなど、要件事実論のテキストとして人気の高い、村田 渉・山野日章夫編著『要件事実論 30 講』(弘文堂、第3版、2012)を用いて、要件事実論強化のために、『問研』を補強できるような集中講義を行います。

担当講師は、元東京高裁判事・元司法研修所教官で弁護士の山本和敏先生。豊富な実務教育経験に裏打ちされた確かな講義を展開いたします。奥深い要件事実論の講義を、元研修所教官にレクチャーしていただける機会は法科大学院に通っている方でもめったにないことだと思います。全受験生必聴の講義です。この機会をお見逃しなく。

和田先生の最新講義 12 時間！



事例問題検討

民事訴訟法から学ぶ要件事実



● DATA (全 12h)
DVDコード：R-619R
定価¥27,200 代理店価格¥25,840

講師：弁護士・元青山学院大学大学院法務研究科教授 和田 吉弘先生

Profile 東京大学法学部卒業。東京大学大学院在学中に司法試験に合格。その後明治学院大学助教授を経て、東京地裁判事として活躍するなど学界・実務双方を見渡すことのできる数少ない法律家。元青山学院大学大学院法務研究科教授。元法曹養成制度検討会議委員。現在、弁護士。著書に、「基礎からわかる民事訴訟法」(商事法務)、「民事訴訟法から考える要件事実 第2版」(商事法務)、「基礎からわかる民事執行法・民事保全法 第2版」(弘文堂)、「司法試験論文過去問 LIVE 解説講義本 和田吉弘民法」(辰巳法律研究所)などがある。

★別売教材

和田吉弘著『民事訴訟法から考える要件事実 第2版』(商事法務) 定価：2,592円(本体2,400円+税)
★付属教材
司法試験予備試験過去問、民事実務基礎(要件事実に限る) ・問題文 ・出題趣旨
※別途お買い求めください。

- 和田吉弘先生が要件事実論を分かりやすく解説
- 民法(実体法)と民訴法(手続法)の理解がつながる
- 予備試験過去問(一部)を素材に実践的に学習

本講座は、和田吉弘先生が以前辰巳法律研究所で講義され大変好評を博した要件事実講義のアップデートです。元裁判官として訴訟実務のご経験も有する和田吉弘先生に司法研修所の考え方に沿った要件事実の基礎知識と考え方を解説していただきます。通常、実体法の問題として解説される要件事実をそれが実際に機能する場面である民事訴訟の手続から解説いただくことで、実体法と手続法が融合した立体的かつ実践的に学習できます。また和田先生ならではの「受験生の目線に立った講義」は、前回の講義の際も「民事訴訟法の学習はこれから」という初学者の方にも大変分かりやすいと大変好評を博しました。

西口竜司先生が必須アイテム「新問研」をたった6時間で攻略

『新問題研究 要件事実』



● DATA (全6h)
DVD H-535R
定価¥13,600 代理店価格¥12,920

講師：辰巳専任講師・弁護士 西口 竜司先生

★別売教材：『新問題研究 要件事実』(法曹会)

■要件事実はこちらでOK！

要件事実対策の必須アイテム「新問題研究 要件事実」を西口先生が斬る！

予備試験受験生・司法試験受験生が押えておくべき基本を詳細に解説致します。ついに改訂された司法研修所の公式解説書をマスターすれば、合格レベルに到達することが出来ます。旧版からの変更点については、特に詳しく解説し、注意喚起を徹底します。